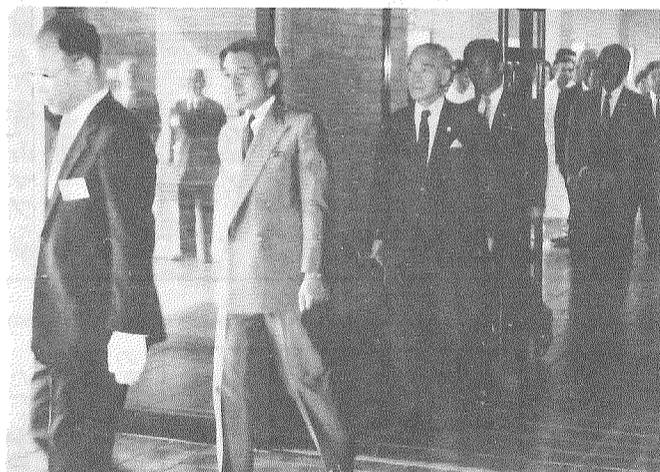


皇太子殿下御来町



皇太子殿下には県内の産業状況を御視察のため、去る9月24日御来県され、お泊所の大洗パークホテルに向かわれるため同日午後5時26分、大洗鹿島線「大洗駅」にお着きになりました。

駅ホームでは当町から竹内宏町長と菅原弥弼議会議長がお出迎えし、駅頭には大貫小学校・南中学校の児童生徒をはじめ町民約千五百人の皆さんが手に手に日の丸の小旗を振り皇太子殿下の御来町を心から歓迎しました。

10号による水害で被害を受けた水戸市や石下町など、14市町村長から被害の状況をご聴取されました。

翌25日は竹内町長・菅原議長・小幡県議・那珂湊・勝田両市長等のお見送りするなかで、午前9時5分お泊所をお発ちになり、那珂町の原研那珂研究所(核融合の研究施設)、日立市の日立日立工場の御視察に向われました。

皇太子殿下の御来町は、去る昭和34年10月、当町で開催された第3回水産資源保護全国大会と放魚祭に御臨席をいただき、次いで、昭和49年9月、本県で開催された第20回国民体育大会夏季大会の際、皇太子妃殿下ご同伴で当町の常陽明治記念館を御覧になり、大洗ホテルに御宿泊され、今回で三度の御来町をいただいたことになりました。

敬老の祝の一日

楽しくなごやかに終る



去る9月13日(土)、町では一足早い敬老会を大洗文化センター大ホールで開催しました。

この日招かれた70歳以上のお年寄り、今年に、当町で初めての百歳の長寿を迎えられる雨沢あき(九七)さん(舟渡1区)を筆頭に、千八百三名(男六八六名・女一一七名)の方々が、当日は、この日を楽しみにしていた皆さんが、元気な姿を続々とみせ、さしもの広い大ホールも忽ち満席となる盛況ぶりでした。

お祝いの式典は竹内町長の主催者あいさつに始まり、最長寿者の雨沢あきさんに県・町社会福祉協

議長からお祝に博多人形と金一封が贈呈され、続いて、米寿達成者23名を代表して、本堂泰一郎さんに県知事からの記念品が伝達されました。

引き続き、名誉町民の小幡県議、同加藤前町長を始とする来賓の皆さんから祝辞があり式典を終了し、お待ちかねの演芸に入りしました。

今年は柳亭ら久楽一行の、歌謡漫談・東京ボーイズ、そっくりシヨ・酒上二郎、等の演芸と敬老芸能発表・町有志による賛助出演などにより、楽しい一日を満喫していました。



祝町同好会の皆さん

海岸清掃奉仕に一役

先日、祝町同好会(野田佳督会長外会員50名)による海岸清掃奉仕が実施されました。

祝町同好会はお父さんソフトボール大会を契機に、祝町地区の若者を対象に地域のコミュニティ作りと会員相互の親睦と友好を目的に組織されたもので地区子供会・学校・町内会事業への参加協力を行なっています。

当日は、早朝6時海門橋下へ会員と子供達が集合し早速作業に移りました。作業はふた手に別れ、海門橋下に漂着した流木等を何ヶ所かに集めての焼却作業と、周辺の空き缶・ゴミの回収作業を行いました。子供達もあまりにも多い空き缶やゴミの量に観光客や釣り



人のマナーの悪さに驚いていました。祝町の皆さん、奉仕作業ごろうさまでした。

竹内町長 高齢者を慰問



恒例になった竹内町長による、町内の長寿者訪問が去る9月9日、敬老の日に先だち行なわれまし

今年、舟渡1区雨沢あき(九七)さん外5名のお宅に記念品を贈り慰

問されました。特に当初初めて雨沢あきさんが10月20日で百歳を迎え、元気なお身体で竹内町長と親しくお話ししました。

おじいさん、おばあさん何歳までもお元気で過ごすください。

昭和三十二年大洗長寿番付

勸進元 大洗町

大洗町在住の八八歳(米寿)以上の方を相模の番付表にならって「長寿者番付表」をつくってみました。(敬称略)

昭和61年9月15日現在

同 横網舟渡雨沢あき九七	同 横網東舎石井ふゆ九七
同 張羅綱藤原小野瀬よて九七	同 張羅綱 靄金清永くま九七
同 大関角一 小野瀬まふ九七	同 大関 靄金 鈴木ふよ九七
同 張羅綱 中宿菅谷かつ九七	同 張羅綱 永町青山マツ九七
同 靄金三代とめ九七	同 角一 高柳もこ九七
同 頭脇 靄金加藤なつ九七	同 頭脇 寺金渡辺みつ九七
同 同 頭脇 榎本うめ九七	同 同 頭脇 清水ウメ九七
同 小結 頭脇 小沼かつ九七	同 小結 共助 小室もて九七
同 同 新町 宮本吉太郎九七	同 同 明神町 小松崎とく九七
同 靄金 大貫ふく九七	同 古宿 米川てる九七
同 同 古宿 杉山いね九七	同 祝町 野口徳四九七
同 同 明神町 小野瀬よて九七	同 寺金 加瀬きよ九七
同 前頭 藤原雨沢ゆき九七	同 前頭 一丁目 小沼くに九七
同 同 明神町 土地文五郎九七	同 同 永町 栗橋治兵九七
同 寺金 加部東まつ九七	同 大倉川 石崎きん九七
同 靄金 加島とく九七	同 一丁目 川上つしま九七
同 同 靄金 関根しん九七	同 古宿 田口なつ九七
同 一丁目 小沼はつ九七	同 北原 小野瀬とし九七
同 同 永町 深谷みつ九七	同 角一 安四郎九七
同 靄金 加藤いし九七	同 同 頭脇 石川はな九七
同 寺金 小松崎やす九七	同 靄金 菊地とく九七
同 同 靄金 大橋フサノ九七	同 同 明神町 内巻与四郎九七
同 新町 関 あき九七	同 同 金沢 大久保きく九七
同 同 一丁目 平岡もて九七	同 同 全沢 福島はつ九七
同 同 通町 秋 はつ九七	同 同 仲町 野村きく九七
同 同 歳前 雨沢富吉八八	同 同 靄金 田山福助八八
同 同 下宿 大川ふく八八	同 同 靄金 大竹繁次郎八八
同 同 金沢 本堂泰一郎八八	同 同 靄金 金子はる八八
同 同 新町 関根元介八八	同 同 靄金 山口もつ八八
同 同 永町 田山あさ八八	同 同 新町 松本やゑ八八
同 同 明神町 土地文次郎八八	同 同 永町 鬼沢保登八八
同 同 新町 三浦わり八八	同 同 金沢 小泉久平八八
同 同 靄金 川上まつ八八	同 同 一丁目 鈴木半三八八

年金だより

新しい年金Q&A

問 今年四月から、年金制度が変

わったそうですが、老齢基礎年金は何歳から受けられるのでしょうか。

答 保険料を二五年(四〇年)年齢により二一年から二四年に短縮される場合がある。納められた期間により、六〇歳から繰り上げ請求をして年金を受けることが出来ます。

ただし、繰り上げ請求をしますと、次のように支給額が減額され、その年金は生涯変わりません。

支給を希望する年齢	金額より減額率	支給率
六〇歳	四二%	五八%
六一歳	三五%	六五%
六二歳	二八%	七二%
六三歳	二〇%	八〇%
六四歳	一一%	八九%

なお、今回の改正により、二つ以上の年金が受けられるようになったときは「一人一基礎年金を支給する」ことが原則となりましたので、二つ以上の基礎年金を受けられることがなくなりました。

たとえば、次のように二つの年金が受けられるようになった場合、どちらかの年金を選択することになりますので、老齢基礎年金を繰り上げ請求する場合、よく考えて請求してください。

○現在または、以前に厚生年金を納め忘れはありませんか？

まだ納められていない方は、十月分の保険料とあわせて納めましょう。

サラリーマンの奥様 国民年金の加入手続きはお済みですか？

ことし四月から、新しい年金制度がスタートしたことに伴い、サラリーマンの奥様は、すべて国民年金に加入していただくことになりました。

今までは、サラリーマンの奥様は、任意加入でしたが、今回の改正により、強制加入になりました。加入したからといって保険料は、ご主人が加入している年金制度でまとめて負担しますので、納める必要はありません。

サラリーマンの奥様で、まだ国民年金の加入手続きがお済みになっていない方は、至急、加入手続きをすませてください。

国民年金の保険料は 月払です!!

納め忘れはありませんか？

まだ納められていない方は、十月分の保険料とあわせて納めましょう。

大洗港 カーフェリー 海難救助訓練行



北海道福祉ツアー 「ふれあいの旅」行われる

町・社協主催の北海道南部を巡る四泊五日の福祉ツアー「北海道ふれあいの旅」が八月二十六日から母子(父子)家庭、九月十六日から身体障害者と二団体が東日本フェリーの協賛で実現しました。地図でしか知らない北海道観光の第一歩は愛嬌をふりまく「登別熊牧場」の百八十頭の熊との会見。さらには登別と洞爺を結ぶ「オロフレ峠」からの洞爺湖・羊蹄山を遠眺できた絶景を目をみはりました。「洞爺湖」では湖の中心に緑に



寄附

一、金百万円也
大洗町磯浜町六三八番地 坂本英彦殿
大洗町消防車両購入基金として町に寄附されました。

一、金参拾万円也
大洗町磯浜町六七三番地 坂本和男殿
老人福祉事業の一部として町に寄附されました。

一、テレビ一台 (二五万円相当)
水戸市水府一四九二番地 センター電機KK
取締役社長三代猛男殿
大洗町役場庁内備品として寄附されました。

一、バケツ55個
東光会 会長 鴨川一成殿
墓地清掃及び墓参用として町に寄附されました。

昨年3月に開港し一年半を経た去る9月8日、大洗港カーフェリー埠頭に停泊中のさつぽろ丸で大規模な海難救助訓練が実施されました。

これはカーフェリーの海難事故を想定した、消火、人命救助、流出油防除などの総合的救助訓練。訓練で、那珂湊海上保安部、大洗町消防本部、大洗町消防団など13の関係機関、団体から約四百人が参加して行ったものです。

訓練は「さつぽろ丸が入港時に気象急変のため、風浪により圧流岩壁に激突し、衝激により機関室

からの出火」を想定し、午前10時10分、通報を受けた町消防団全分団の消防車が消防司令車を先頭に現場に到着海上の消防艇と共に放水消火訓練をし、あわせて負傷者の救出、救急隊による応急救護、病院への搬送等を行いました。

また、さつぽろ丸の上空には、海上保安部の大型ヘリコプターがサイレンを鳴らしながら飛来し、負傷者の吊り上げ救出訓練を行いました。海上ではオイルフェンスを張り、流出油の防除訓練等が手ぎわよく行われ、滞りなく予定どおり訓練を終りました。

また、さつぽろ丸の上空には、トル級のジャンプ競技が行なわれた「大蔵山ジャンプ競技場」の高さに驚きました。バスの車窓から札幌市内の「時計台・旧北海道庁自由行動」で日本の首都東京にも劣らない札幌の都市化に驚嘆。「も

みこんで再び船旅となりました。一行の安否を気ずかい、竹内宏町長・加藤理病院院長が発見日の「ゆれたるな」の様子を聞きつけ、室蘭市フェリーターミナルに迎え旅を共にしました。病人もなく全員無事故で福祉ツアーの終わったこと喜び、婦人会のボランティア、町消防署の職員の皆様方の介助・介護にあらためて敬意を表します。

交通安全

全国キャラバン隊当町を訪問

去る8月25日(月)、交通安全キャラバン隊のため交通安全全国キャラバン隊が役場を訪れました。当日午前11時役場正面玄関前で水戸地区交通安全協会大洗支部(小幡五朗支部長)・大洗町交通

安全母の会(黒沢みつ江会長)の皆さんが迎える中、2台の白バイに先導されてキャラバン隊が到着し、早速「総理府総務長官のメッセージ」がキャラバン隊長の県交通安全母の会連合会高田登代子会長から竹内町長に伝達されました。

交通安全協会・母の会 海岸清掃奉仕を行う

夏の海水浴期間も終わり残暑の残る大洗海水浴場で、去る8月26日(火)大洗町交通安全協会大洗支部(小幡五朗支部長)・大洗町交通安全母の会(黒沢みつ江会長)が海岸清掃奉仕を行いました。当日は8時30分都市公園事務所

に集合し、竹内宏町長、小幡五朗支部長、都市公園事務所長のあいさつがあり、早速作業に移りました。

清掃奉仕作業は、大洗ビーチパレス下より大洗水族館下までの間を横一列になり行なわれ、夏の海水浴期間に残された空き缶、花火のやり残し、台風10号による漂着物等で大きなビニール袋がまたたく間にいっぱいになりました。

暑い暑い日に汗をかきながらの善意の奉仕作業をいただきありがとうございました。

国保だより 秋の健康づくり

朝夕はめっきり秋の気配が感じられるようになり、健康づくりには一番よい季節となりました。今から十分体力をつけ、冬になって風邪などに負けないような体力づくりが心がけましょう。まず健康を維持するためには食生活が第一です。最近では生活のテンポが早くなってきたためインスタント食品や加工食品ですませる家庭が増え、食事のバランスを欠きがちです。健康を保つためには、脂肪、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、カルシウム、炭水化物を毎日組み合わせて食べることが大切です。最近ふえている子供の骨折事故もカルシウム不足が大きな原因の一つになっています。日頃からカルシウムを豊富に含むイワシ、ひじき、牛乳などたっぷりとりましょう。成人病やガンなどは、その原因の八〇%までが、食生活を中心とする日常習慣に基因するといわれています。〇若さを保つ食生活

- ①ごはんは偏らないようにおかずは十分に
- ②魚、大豆製品、牛乳を毎日の食卓に
- ③新鮮な野菜果物、海藻類をたっぷり
- ④動物性脂肪をひかえ植物油を豊富に
- ⑤塩からい食事はひかえる
- ⑥何でも食べて腹八分目に

では健康を保つためには一日どの位の運動をすればよいのでしようか、ふつうの人は仕事以外に一日二〇〇〜三〇〇キロカロリ程度の運動が必要といわれています。たとえば一〇キロロカローリの運動で消費するのは「歩行三〇分〜三五分」「かけ足十五分〜二〇分」「ラジオ体操二五分〜三五分」「階段昇降十分〜十五分」です。これらを運動の目安として下さい。

バランスのとれた食生活、適当の運動、充分な睡眠、これが健康を保持する必要条件です。健康それは家族みんなのしあわせです。

■目が疲れやすい

蛋白質、ビタミンA・B・C、ミネラル(魚・肉・レバー・うなぎ・にんじん・いちご・レモン)

■体がだるい、肩がこる

ビタミンB₁、ミネラル、カルシウム(レバー・豚肉・牛乳・小魚類・ごま・くるみ)

■眠くなりやすい

ビタミンB₁、クエン酸(牛乳・レバー・はちみつ・しょうが・梅干・レモン)

故坂本彦市 前大洗町消防団長に

従六位を追賜



去る七月二十四日に亡くなられました前大洗町消防団長故坂本彦市氏に、内閣から特旨を以て位記が追賜され、従六位に叙せられました。

故坂本彦市氏は生前五十年の長きに亘り消防活動に貢献され、その間消防団長の要職にあること実に二十六年間、県内屈指を誇る大洗町消防団の基盤を築きあげるとともに、町の教育文化・商工観光・地域経済等々の振興に中広く活躍し、その功績は非常に高く評価され、昭和四十一年秋の叙勲では勲五等双光旭日章に叙せられました。

生前の偉大な功績によりこのたび、逝去にあたり内閣から位記が追賜されたものです。従六位勲五等旭日章、故坂本彦市氏のご冥福を衷心より祈ってやみません。

